

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|--------------|
| 事業所番号 | 2371600731 |
| 事業所名 | グループホーム あすなる |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|-------|--|-------------------|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域の清掃活動（ゴミ拾い、どぶ掃除等）に積極的に係わり、職員に混じって利用者の半数ほどが参加している。 職員の子どもが通っていた幼稚園の芋ほりイベントが契機となり、理解ある農家と連携して利用者が「さつま芋掘り」を楽しんでいる。車イスの利用者は畑に入れないが、道路で見物することもある。 | 評価 ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 毎偶数月に運営推進会議を開き、年間6回の開催である。 家族は、それぞれのユニットから代表が参加し、地区の民生委員3名と地域包括支援センター職員は皆勤で出席している。 ホームから綿密な活動状況の報告をした後、会議メンバーによる意見交換を行っている。 | 評価 ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） 地域包括支援センターと連携し、地域の介護イベントに参画している。 介護相談会や認知症カフェ（共に地域包括支援センター主催）に会場を提供し、ホームは健康体操の指導を受け持った。 生活保護受給者が5名入居しており、市の保護係との連携を強固なものとして取り組んでいる。 | 評価 ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会が年に2回開かれており、その内の1回は職員をも交えた「懇親会」である。1家族で3名の参加があったり、苦労話に花が咲いたり、大盛況であった。 職員が関与しない家族だけの家族会では、ホームに対する感謝の言葉が多く出され、それはホームにも伝達された。「ホームを利用して若返った、元気になった」等、うれしい言葉が伝えられた。 | 評価 ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | 評価 ○ ○ ○ |
| 総合評価 | | ○ |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取組み | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

【過去の軽減要件確認状況】

| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 総合評価 | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | | | |